

# 予 算 常 任 委 員 会 記 録

## 1. 委員会を開催した年月日・時刻及び場所

令和8年3月12日(木) 議 場  
午後1時30分 開議 午後2時45分 休憩  
午後3時00分 再開 午後3時55分 休憩  
午後4時 5分 再開 午後4時48分 閉議

## 2. 出席した委員の名簿

委員長	岡 本 佐 市 (○)	
副委員長	稲 安 保 (○)	
委 員	本 吉 典 子 (○)	
〃	丸 田 一 幹 (○)	
〃	松 田 義 人 (○)	副議長
〃	備 後 克 則 (○)	
〃	川 口 雅 登 (○)	
〃	北 川 真知子 (○)	
〃	酒 井 一 人 (○)	議 長
〃	寺 井 哲 也 (○)	
〃	櫻 井 英 一 (○)	
〃	新 田 義 昭 (○)	
〃	山 本 泰 夫 (○)	
〃	浅 野 俊 二 (×)	欠席

## 3. 傍聴した者 な し

## 4. 出席した説明員

岸市長、川口副市長、山本総務部長、政氏市民福祉部参事、森田デジタル推進室長、北山秘書課長、山岸企画財政課長、木曾市民窓口課長、木田会計管理者、蓮本こども課長、崎田まちづくり課長、安達災害復興推進室長、赤井地域包括ケア推進室長、保志場税務課長、小林選挙・監査委員事務局長、清水こども課参事  
※市長はあいさつ後、退室（午後1時32分）する。

## 5. 出席した事務局職員

事務局長 木村 繁成 事務局次長 野崎 直美 係長 澤田 朋子

## 6. 会議に付した議件

令和8年度一般会計当初予算のうち本日審査分

## 7. 会議の概要

岡本委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。  
次に、岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、別紙日程表に基づき、歳入については、山岸企画財政課長、保志場税務課長が説明し、歳出については、議会事務局、総務課、デジタル推進室、秘書課、企画財政課、まちづくり課、災害復興推進室の順で説明が行われ休憩に入る。再開後、会計課、市民窓口課、税務課、選管・監査事務局、健康福祉課、地域包括ケア推進室、こども課の順で説明が行われた後、再び休憩に入る。再開後、質疑・応答が行われる。

最後に、2日目（3月13日）の開催時間を確認し、会議を閉じる。

## 8. 主な質疑・応答等

### 【付託案件に対する主な質疑・応答】

松田委員：庁舎改修工事費に基本構想基本計画の策定委託料1,000万円を計上しているが、羽咋市役所横体育館の解体も含めた計画か。

山本総務部長：今年度は庁舎のあり方を検討し、来年度基本構想基本計画を策定する。体育館の解体も含めた計画である。

松田委員：地域公共交通事業で、町会版ライドシェアの補助メニュー拡充との説明であったが、現状車両の1/2の上限が100万円、運営費が1/2の30万円が上限の補助制度をどう拡充するのか。

山岸企画財政課長：今回の拡充は、金額の部分である。

現在、1/2の100万円補助であるが、その金額では車両購入は難しいので、4/5の160万円に、運営は現在1/2の30万円だが、これを2/3の40万円補助に設定する予定である。

櫻井委員：移住定住推進事業の中の奨学金返還支援事業、男性が10万円、女性が20万円、医師が100万円だが、実績は。

崎田まちづくり課長：まだ確定ではないが、現在のところ一般の大学生の男性が10名の100万円、女性が10名で174万円である。

備後委員：移住定住推進事業について、移住定住は、人口減少対策の一つの手段であるが、この事業の展開により、何人の移住者を想定しているのか。また、移住のインターンのメニューでは、何を体験するのか。テレワークも想定しているか。また、氷見市との連携で、何人の移住者が定住できるのか、手段と見込みを教えてください。

崎田まちづくり課長：移住者数の見込みだが、今年度実績の40名弱を維持するのが最低ラインだと考える。

また、移住インターンの体験ツアーである移住ツアーは、複数の大学のゼミ生を誘致して地域の課題解決を一緒にやっていく。

来年度からはトキの事業も始まるが、地域にお金を落としながら続けていくプログラムの検討もすでに始めている。実行可能なプログラムがあれば、PRに特化したツアーにし、実行できるツアーがない場合は、モニターツアーなども検討する。

また、現在居住者のみを対象にしているため、テレワークは予定していない。技

能を持つ人材を育て、地域の人材不足を解消できるよう事業者からの DX、仕事の切り出しも合わせて行う予定である。

氷見市との連携では、同じ事業でも氷見市とオンラインで同時に開催することにより、2倍の回数が開催可能になるとか、また、氷見の技術者に羽咋の事業所を手伝ってもらするなど、氷見の仕事を今後取りつけて、事業を推進できると考える。

川口委員：移住・定住推進の中で、地域おこし協力隊が4人から5人になって、地域をアピールしたり、また転出の減少に歯止めをかけ、今までになく、羽咋市が社会増になった。すごいことである。さらに拍車をかけ、移住定住策を担う地域協力隊であること願うが、現状、その中身は何かを聞く。

崎田まちづくり課長：現在の地域おこし協力隊は、空き家活用の民泊事業をする方が1人、地域の農業で農地活用する方が1人、市の施設から情報発信や特産品の料理を通して発信する方が1人、IT活用の方が1人である。

本吉委員：地域の公共交通の町会のライドシェアに予算計上されているが、詳細を説明願う。

山岸企画財政課長：公共交通はJRや北鉄バスなどが担っていたが、その撤退により、地域福祉の向上のため、行政が参入した経緯がある。現状、行政で全域を即カバーするのは極めて困難であるため、町会等の単位での申請制とし、車両の購入費や運営費を助成する地域の乗り合いタクシーのようなイメージである。今の公共交通のニーズをまかなえない部分に、新しい可能性として準備してきたものである。

北川委員：被災者見守り対策強化事業で、昨年と比較するとかかなり減額となるが、その理由は何か。

赤井地域包括ケア推進室長：仮設住宅において、高齢者や一人暮らしの方に緊急装置をつける事業であるが、昨年度実績17人から推計し、予算を計上した。

松田委員：地域団体等活動支援金の中の地域自治振興奨励金で、昨年度、1,000万円増額し、今年度1,000万円減額した。地域では、高齢者や単身世帯が多くなり、町会費を上げられない状況であり、地域自治振興奨励金に頼る部分があるので、1,000万円下がると厳しい。その辺をどう考えるか。

山本総務部長：昨年は、地域自治振興奨励金を特別分として、通常より1,000万円上乗せ計上していた。昨年度途中で地域コミュニティ活動支援事業を計上したが、今年度は3,700万円である。地域活性化の事業に充てるため、各町会に7年度から9年度までの3か年計上する。町会にとっては10分の10の事業だが、補助金申請等の手続きが必要となる。事業を活用し、町会活動の支援にしてほしいと考える。

松田委員：今の件、要するに事業に充てる補助金があるとのことだが、経常経費、町会運営費が苦しいのであり、意味するところが異なる。町会長連合会で丁寧に説明するよう希望する。

もう1点、老人クラブ等活動補助金で、老人クラブは現段階で何団体あり、加入者はどれだけか。

赤井地域包括ケア推進室長：老人クラブは、令和7年度は43クラブあり、8年度は3クラブ減の40クラブになる予定。加入者数は、全体で1,734人、平均するとだいたい40人程度である。

本吉委員：あだちの隣に子育てサロンが1ヶ所あるが、すこやかセンターにもサロンを設置するとのこと。その経緯と増設の理由を問う。

蓮本こども課長：すこやかの一むには、現在病児保育施設と休日保育施設があり、平日の利用は、病児保育施設の利用のみであったが、休日に保育施設を開設しているので、施設の有効活用で、新たに子育てサロンを追加するもの。また、休日保育室の子育てサークル等への貸し出しも想定している。

サロンが3カ所増になるが、あだち横は買い物や立地がよく、こすもす保育園では、保育施設の中の雰囲気味わえる、すこやかセンターでは、病児保育あるいは休日保育に慣れるなど、その場所に応じた特性を利用した子育てサロンを展開するものである。

丸田委員：一人親子どもの学習支援事業の講師は、教員のOBか。また、一人親家庭へは学校から周知されるのか。また、ホームページに掲載されていないのか。

蓮本こども課長：こども課から児童扶養手当の対象者に、事業の説明と参加募集の通知をし、現在5名の応募があった。講師に関しては、比較的年齢の近い若い世代の方が子供の学習意欲が湧くのではと考え、現在、地域の4名の学生（大学生3名高専4年生1名）に依頼している。

新田委員：川口副市長に質問する。

羽咋市の自主財源は多少の増減はあるにせよ、毎年ほぼ同じである。ふるさと納税の増収もあるとのことだが、予算編成の際に、宿泊税等の目的税等の導入は考えなかったのか。来年はぜひ考えて、予算に計上するよう願う。

川口副市長：自主財源がずっと変わらないという質問だが、確かに、小さな地方の自治体では自主財源が3割しかない。羽咋市はふるさと納税では6億円余りの歳入がある。宿泊税のような目的税も検討する。歳出を切り詰め、効率化を図り、自主財源を得ることは非常に大切である。しかし、今現在では、観光分野に力を入れており、とにかく羽咋市に来てもらいたい。少し宿泊税を取って儲けるよりは、今の段階ではまだ復興を主に進めていきたい。宿泊税については、もう少し復興が進んでから考えるべきだと考える。

# 令和8年第1回羽咋市議会定例会議案付託表

予算常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	議案第1号	令和8年度羽咋市一般会計予算
2	議案第2号	令和8年度羽咋市国民健康保険特別会計予算
3	議案第3号	令和8年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算
4	議案第4号	令和8年度羽咋市介護保険特別会計予算
5	議案第5号	令和8年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算
6	議案第6号	令和8年度羽咋市水道事業会計予算
7	議案第7号	令和8年度羽咋市下水道事業会計予算
8	議案第8号	令和7年度羽咋市一般会計補正予算（第10号）
9	議案第9号	令和7年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
10	議案第10号	令和7年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
11	議案第11号	令和7年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第3号）
12	議案第12号	令和7年度羽咋市水道事業会計補正予算（第4号）
13	議案第13号	令和7年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第4号）
14	報告第1号	令和7年度羽咋市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の報告について